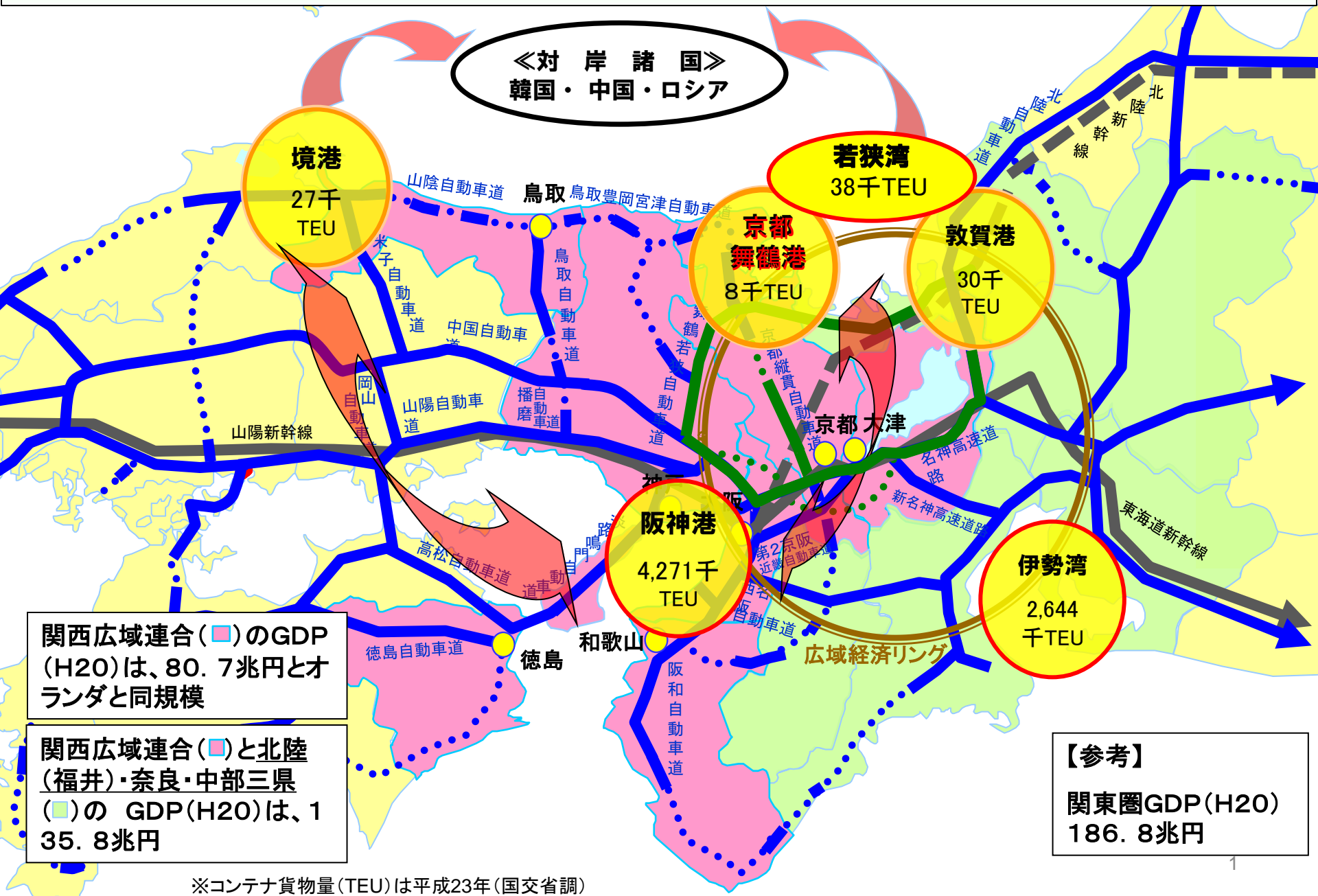


日本海側拠点港側から見た広域インフラ連携と経済圏のイメージ



日本海側拠点港としての機能強化



西港全景



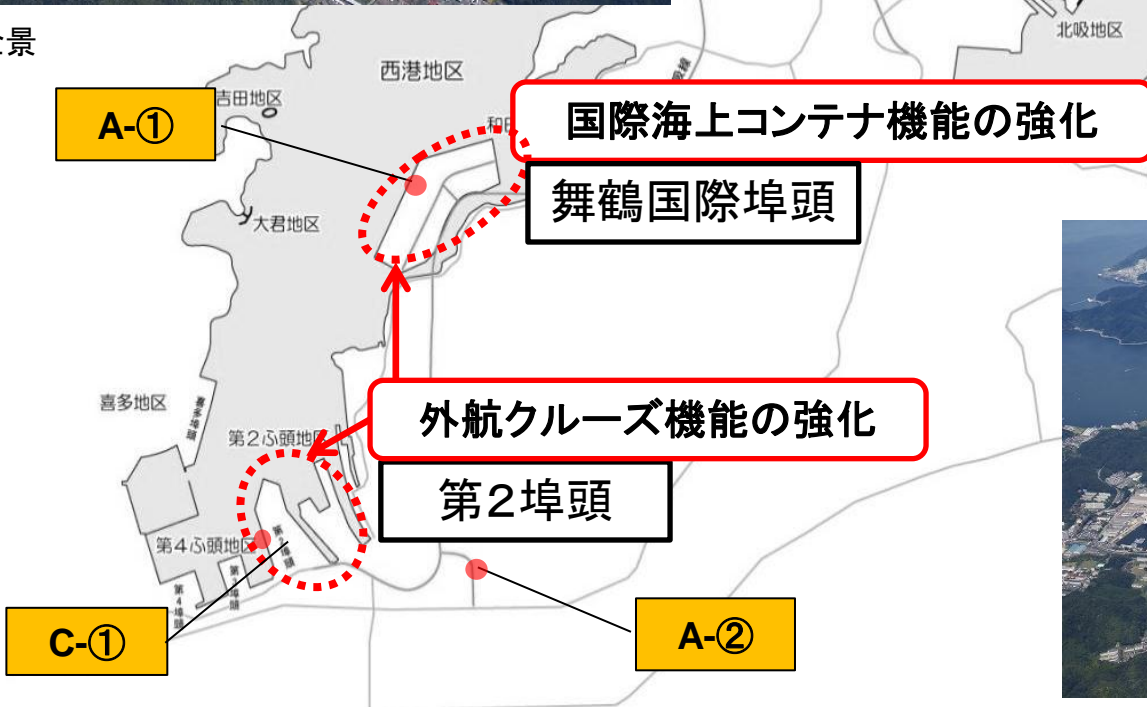
国際フェリー機能の強化

前島埠頭

B-②

B-①

東港全景



国際海上コンテナ機能の強化

舞鶴国際埠頭

外航クルーズ機能の強化

第2埠頭

A-①

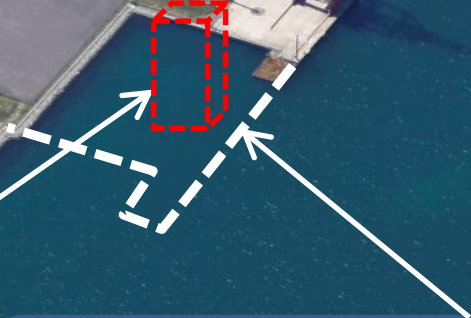
A-②

C-①

国際海上コンテナ機能の強化

- ・中国定期航路 週1便
- ・韓国定期航路 週2便
(平成25年5月に1便増)

舞鶴国際埠頭



岸壁機能の強化
(コンテナ船・バルク船等2隻同時着岸可能化)

国際フェリー機能の強化

内航フェリー岸壁の早期整備

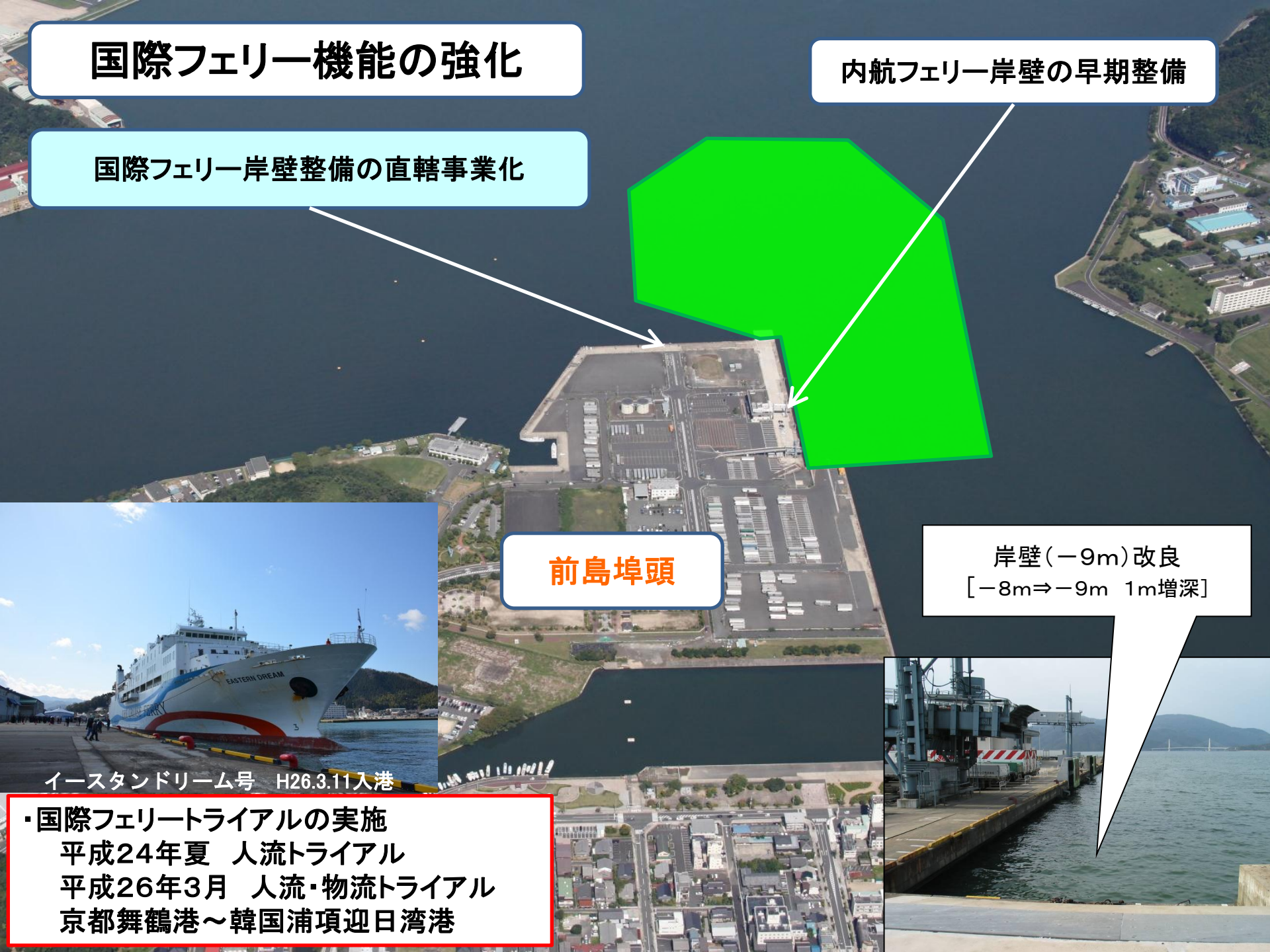
国際フェリー岸壁整備の直轄事業化

前島埠頭

岸壁(-9m)改良
[-8m⇒-9m 1m増深]

イースタンドリーム号 H26.3.11入港

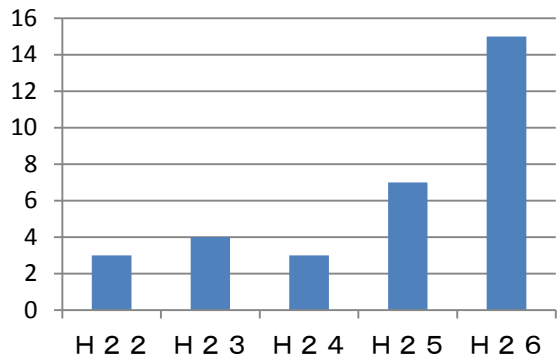
- ・国際フェリートライアルの実施
- 平成24年夏 人流トライアル
- 平成26年3月 人流・物流トライアル
- 京都舞鶴港～韓国浦項迎日湾港



外航クルーズ機能の強化

大型外航クルーズ船対応岸壁の増深事業の直轄事業化
(-9.0m→-10.0m)

クルーズ客船の入港状況



クルーズ船旅客ターミナル整備

第2埠頭

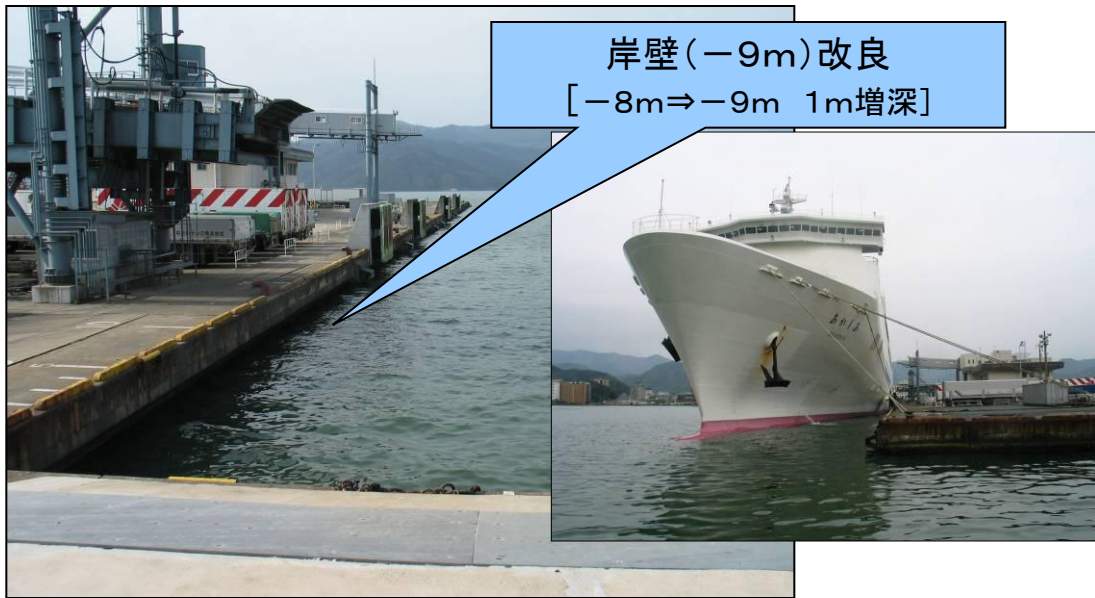
- ・平成25年にはサンプリンセス、コスタビクトリアが計4回寄港その他のクルーズ船と合わせて計7回と過去最高を記録。
- ・平成26年度にはダイヤモンドプリンセスが5回寄港。その他のクルーズ船と合わせて計15回寄港。

複合一貫輸送（フェリー）を支える事業



新日本海フェリー
舞鶴～小樽航路(1日1便)
船舶の諸元

総トン数	: 約17,000ト
航海速力	: 30.5ノット
車両積載台数	: トラック158台 乗用車66台



舞鶴港のフェリー貨物は、内貿貨物の約8割を占めており、舞鶴～小樽間を約20時間で結ぶフェリーの需要はさらに高まっている。このような要請に応え、フェリー船舶の大型化に対応するため、岸壁の水深を8mから9mに増深する岸壁改良事業を進めています。

臨港道路・国道27号西舞鶴道路整備状況

